

国会論戦の詳細

31日の衆参予算委集中審議から

〈本文記事4面〉

衆参両院の予算委員会が31日に行われた「内外の諸課題」に関する集中審議の中心となり取り扱ったのは、衆院の質問者、中山秀夫(自民)、太田昌孝(公明)、無所属の山井和則、国民民主党の奥野総一郎(以上、立国社)、堀川鉄也(共産)、浦野靖人(維新)の6氏。参院の質問者は、中西健治(自民)、立憲民主党の石橋通宏、国民の矢田種子(以上、立国社)、伊藤孝江(公明)、柳ヶ瀬裕文(維新)、大門実紀史(共産)の6氏。

■新型コロナウイルス

中山氏 世界保健機関(WHO)が「国際的な公衆衛生上の緊急事態」を宣言した。感染症法上の措置を急ぎ、中国・武漢市などから邦人を帰国させた。チャーター機の費用は政府が負担すべきだ。安倍首相 感染者に対する入院措置や公費による適切な医療を可能とするため、28日、新型コロナウイルスに関する感染症に感染症法上の「指定感染症」に指定した。当初7月7日から施行予定だったが、WHOの宣言を受けて短縮し、1日より施行する。これにより、我が国に入国しようとする者が感染症である場合に入国を拒否する。感染者であることが確認できない場合でも、入国管理を強化するべく、運用について速やかに検討する。

今回のチャーター機による退避については、運賃(約8万円)を政府が負担する方向で検討する。引き続き、国民の生命と健康を守ることを最優先下、やるべき対策を躊躇なく決断し実行していく。太田氏 中国政府への支援について可能な限りの対応を求めたい。茂木外相 チャーター機にマスクや防護服などの物資を搭載して現地に届けている。引き続き可能な限りの支援を求めたい。

首相 入管強化するべく検討

山井氏 武漢帰国一時隔離を

国内で人から人への感染例が発生し、WHOで緊急事態の判定があり、それなりの周知も図られてきている。それらを総合的に勘案して1日施行の準備をしている。外相 邦人の帰国のオペレーションは他国と比べ、日本が最も早い。現地で交通網が遮断されるなど難しい状況の中、最大限努力しているつもりだ。山井氏 請願者は帰国者を一時隔離する措置を取っている。日本でも措置を取るべきだ。柳ヶ瀬氏 武漢からの入国を制限する立法措置を早急に検討する必要がある。石橋氏 感染者の患者であることが確認できない場合の対応については、関係省庁と検討中。奥野氏 インターネットのデマへの対策は、厚労相 様々なデマが流さされていることを常に認識し、国民に正確な情報がタイムリに届くように努力していきたい。



衆参予算委員会の集中審議で審議する首相(31日午前、国会)＝藤原正倫撮影

山井氏 帰国者は全員、国の施設に入ったか。厚労相 1便ずつ便で帰った方は現在、私も確保した宿舎にいます。病院に入っている方を除くと、3人が自宅で過ごしている。3人ともほぼ毎日、健康状態などの確認の電話をしている。当初、ウイルス検査を拒否していた2人は検査を受けた。奥野氏 水際で食いつまめるかどうかの瀬戸際だ。(武漢市などが)帰国した方2週間、人と接しない自発的隔離措置を求めているが、結果責任が問われる。首相 現状をうかがって厄

「桜」領収書資料で出して 石橋氏

人事課長によって記載事項の一部消去されていた。国会審議とそしりは免れない。再発防止の考えは、首相 桜を見る会に関連し、内閣府が行政文書の保管や廃棄における不適切な取り扱いや、国会に提出した資料について文書の趣旨を正しく伝えるためといえ、記載の一部を消去するに適切に対応があったことには遺憾がない。今後、各府省におけるチェックの強化を図りたい。



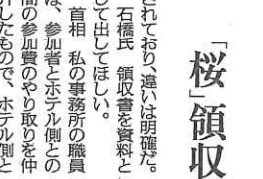
自民・中山氏



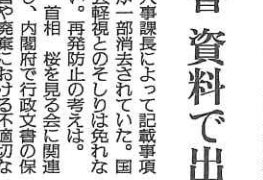
共産・堀川氏



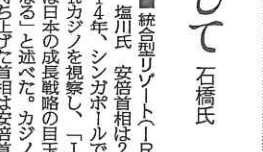
自民・中西氏



自民・石橋氏



維新・浦野氏



国民・矢田氏

■桜を見る会 山井氏 首相が毎年、年始(地元)の山口県下関市や長門市で行っている新春の集いは政治資金収支報告書に記載されている。安倍首相三接会主催の前夜祭の合意に付き、会場入り口の受け付けで、ホテル側職員立ち会ひの下、私の事務所の職員が1人1000円を現金し、ホテル名義の領収書をその場で手交し、受け付け終了後に現金した